

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

胎児超音波スクリーニング検査で見つかった低エコー領域を伴う胎盤所見と周産期予後についての検討

[研究責任者]

江南厚生病院 産婦人科 松川泰

[研究の概要]

低エコー領域を伴う胎盤所見の臨床的意義は不明確な部分が多く、多くは正常な変異とみなされています。胎児超音波スクリーニングガイドラインは胎児の形態スクリーニングについての記載はありますが、妊娠中期以降の胎盤評価について明記はされておらず、臨床現場で低エコー領域を伴う胎盤所見を認めた際の対応は一貫しておりません。

そのため今後の診療に生かすため、低エコー領域を伴う胎盤所見が周産期予後に対してどのような影響を与え得るかについて検討を行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2019年1月1日から2023年12月31日に当院にて胎児超音波スクリーニング検査を受検した方。

●利用するカルテ情報

母体) 年齢、BMI (Body Mass Index)、喫煙歴、検査時妊娠週数、分娩週数、
分娩時出血量、胎盤重量、分娩様式、胎盤所見
児) 出生体重、Apgar スコア (1分、5分)、NICU/GCU 入室率

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

- 研究代表者：江南厚生病院 産婦人科 高木佳苗
電話 0587-51-3333 FAX 0587-51-3337